

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (R)	2	3-A

1. 学習の到達目標

コミュニケーション英語Ⅰで身に付けたコミュニケーション能力をさらに伸ばすことを目標とする。
 目的に応じた読み方、話し合った結果をまとめる。
 教材は人権を含む社会問題全般に目を向け、考える機会を持つ。また、英文法の基礎学力の徹底を図る。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson 1 [World Breakfast] Lesson 2 [The Emerald Isle] 中間考査 Lesson3 [Sakana-kun] Lesson 4 [Nobel Prize Episodes] 期末考査	* 単元を通して、世界の朝食について学習させる。 文法：疑問詞やifで始まる節の習得 * 単元を通して、アイルランドという国を学習させる。 文法：比較の習得 * 単元を通して、さかなクンとクニマスについて学習させる。文法：名詞を修飾する分詞の習得 * 単元を通して、ノーベル賞について学習させる。 文法：知覚動詞の習得
2 学 期	Lesson 5 [Flowers in the Tomb] Lesson 6 [Unique Countries] 中間考査 Lesson 7 [The Galapagos Islands] Lesson 8 [Shodo, Old and New] 期末考査 Lesson 9 [Water World]	* 単元を通して、黄金よりも美しかった花について学習させる。文法：使役動詞・関係代名詞の習得 * 単元を通して、小さい国、小さい島国、小さい大陸について学習させる。 文法：how to do/It seems that～を習得 * 単元を通じて、ガラパゴス諸島について学習させる。 文法：現在完了進行形・形式目的語の習得 * 単元を通して、伝統文化の新しいスタイルについて学習させる。文法：部分否定の習得 * 単元を通じて、水族館について学習させる。 文法：関係代名詞の非制限用法の習得
3 学 期	Lesson10[A Long Friendship] 卒業考査	* 単元を通じて、日本とトルコの友好関係について学習させる。文法：過去完了形・強調構文の習得

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査、提出物、授業態度などの総合評価
------	----------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	英語の学習を通じて、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付ける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	VISTA English Communication II (三省堂)
副教材	自作プリント